

山形連携中枢都市圏及び民間事業者 との連携による広域観光の推進

山形市商工観光部観光戦略課

山形連携中枢都市圏について

山形連携中枢都市圏

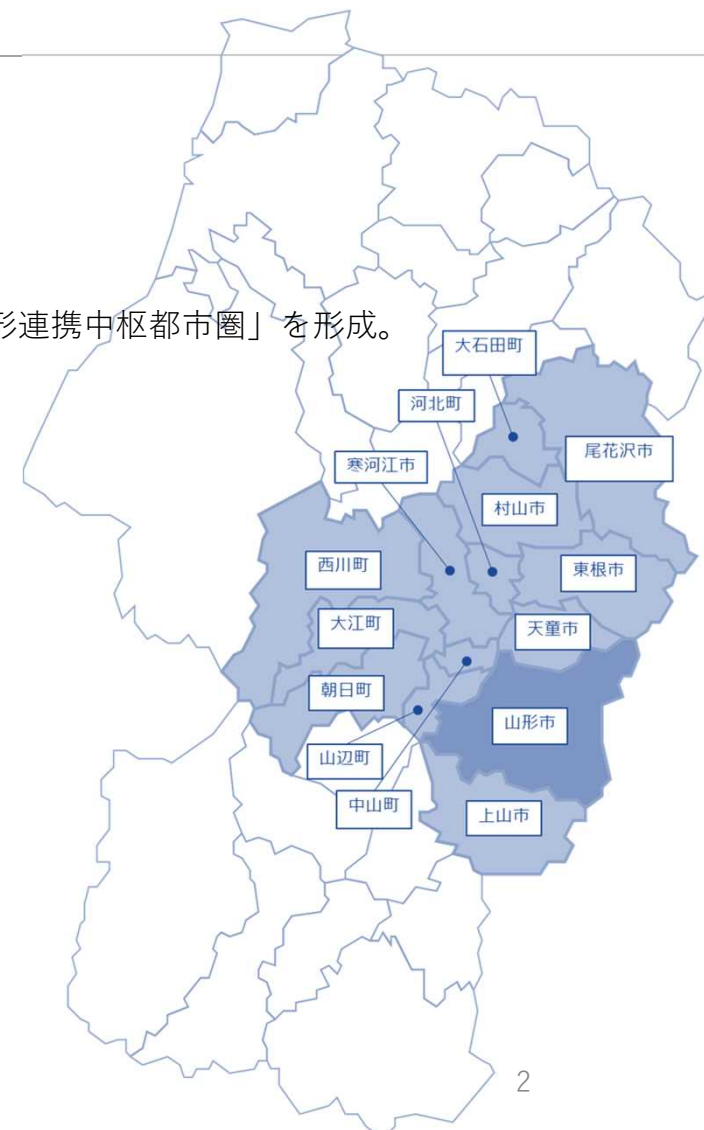
平成31年4月に山形市が中核市へ移行したことに伴い、山形市と連携する市町で「山形連携中枢都市圏」を形成。

山形連携中枢都市圏ビジョン

観光をはじめ、中長期的な将来像を達成するために様々な分野で連携事業を実施。

構成市町

山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町の7市7町



DMOさくらんぼ山形について

観光地域づくり法人(DMO)であるおもてなし山形(株)と連携し、地域の観光戦略策定や人材育成研修等を行います。

DMOとは

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役の法人

1. 多様な関係者との合意形成
2. データ分析、コンセプトの基づいた戦略策定
3. 観光資源の磨き上げや域内交通を含む交通アクセス整備
4. プロモーション

構成会員

- 各市町観光主管行政担当者
- 交通事業者
- 旅行会社、金融機関
- 観光協会 等

役割

- 観光地域づくりの合意形成
- DMO戦略策定、PDCA評価
- 人材育成
- マネジメント・マーケティング

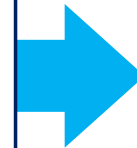
DMOさくらんぼ山形について

前身事業である三市DMOのノウハウを生かし、域内への観光を地域ブランドとして確立します。

具体的な課題（三市DMOの課題）

観光消費額の伸び悩み

- × 観光商品のマンネリ化
- × 知名度不足による競争力の低下
- × 新規旅行者の獲得取り組みの不足
- × 商品開発等の専門人材不足



課題解決に向けた取り組み

スケールメリットを活かした事業の多角化

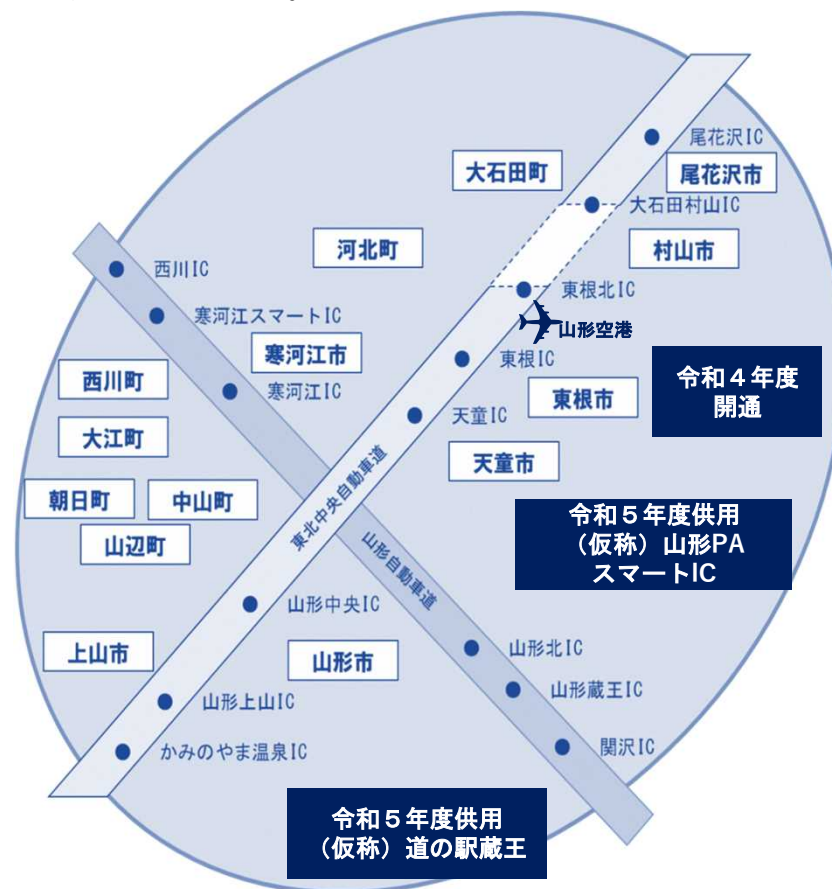
- 新たな観光資源の商品化
- 7市7町観光圏としてのPR
- 事業多角化による新規顧客の獲得
- 地域活性化起業人制度の活用

誘客と観光振興の生命線

DMOさくらんぼ山形において高速道路は単なるインフラにとどまらず、
誘客と観光振興に重要な役割を果たしています。

エリアにおける高速道路の特徴

- ✓ エリアを十字に貫き面的にカバー
- ✓ 18のIC・スマートICによる良好なアクセス
- ✓ 仙台市・福島市と1時間程度で連絡
- ✓ ICと近接する形で山形空港が立地



7市7町の観光素材を点から線、そして面へ

高速道路を軸に各地域の豊富な観光素材を繋げます。



例1 アドベンチャーツーリズム コンテンツの発掘・磨き上げ事業

高速道路を利用した当エリアへの誘客促進及びアドベンチャーツーリズム推進に向けた地域ブランディングの素地の形成。



例2 「高速道路×レンタカー」 周遊モデルコース造成事業

山形空港及び仙台国際空港を起点とした、レンタカー利用による四季折々の周遊モデルコースを造成することで、高速道路利用の促進を図る。



例3 キャンピングカー マーケット調査事業

キャンピングカーユーザーという新たなマーケット獲得とキャンピングカーによる高速道路利用促進の可能性について調査検証。

観光WGにおける関係者との連携と合意形成

JAL、HISをはじめ観光、商工、金融機関等が観光WGに参画しながら事業を推進します。

プレスト・データ分析



- WGを中心とした関係の質の向上
- データ分析をはじめとした人材育成研修
- プレストによる既存のアイデアにとらわれない発想
- データに基づく戦略策定

コンテンツ洗い出し



- 観光コンテンツや素材について洗い出しと可視化
- 自然環境や地域素材のアクティビティを活かした観光
- Google Mapによる周遊プランの整備

商品開発



- 7市7町が補完する365日楽しめるアクティビティ
- インバウンドも視野に入れたレンタカー周遊プラン
- 農泊など他分野関係者と協働した観光コンテンツ開発

販売・検証



- 観光情報ポータルサイト「VISIT YAMAGATA」での商品販売
- VISIT YAMAGATA でのプロモーション
- VISIT YAMAGATAでのSEO対策

高速道路を軸にDMOSやまがたは発展

山形市商工観光部観光戦略課